

## 袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和5年11月 袋井市教育委員会 定例会
招 集 日 時	令和5年11月15日(水)午後1時30分
会 議 時 間	午後1時30分から午後3時まで（1時間30分）
場 所	教育会館 3階 ICT研修室
出 席 者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 大谷純應 委員 溝口知秀 委員 吉田陽子 委員 (計：5人)
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	石黒克明 教育部長 山本裕祥 教育監 山本 浩 教育企画課長 小鷹義晴 おいしい給食課課長 杉山明子 子ども未来課長 小澤一則 育ちの森所長 石井誠一 学校教育課課長補佐 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 大庭尚文 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 白澤 崇 歴史文化館長 松井健尋 教育企画課主幹兼教育総務係長 (計：12人) (合計：17人)
会議に付した 事 件	別紙「令和5年11月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和5年11月 袋井市教育委員会定例会 日程  
会 議 日 程

日程第1 開 会

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 教育部月例事業報告

日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

協第17号 令和5年度11月一般会計補正予算について

協第18号 令和6年度 袋井市県費負担教職員人事異動方針（案）について

（2）報告事項

報第125号 笠原老人福祉センターほか1施設に係る指定管理者の候補者の選定結果について

報第126号 4中学校における新制服の運用について

報第127号 寄附品の受納について

日程第7 意見交換

幼保小接続カリキュラムの推進について

日程第8 その他

国補正予算資料（1人1台端末の更新）

（1）次回定例会等の予定について

12月教育委員会定例会

12月26日（火）午後1時30分～ 教育会館3階 ICT研修室

（2）その他

日程第9 閉 会

## 1 開会

### ●教育長

## 2 会議録署名委員の指名

### ●教育長

大谷委員 と 溝口委員 を指名

## 3 会議録の承認

### ●教育長

10月の定例会の会議録については、承認

## 4 教育長報告

### ●教育長

資料に基づき、主な内容を報告

## 5 教育部月例事業報告

### ●各課長

資料に基づき、各課長から主な事業を報告

## 6 議事

### 【協議事項】

協第17号 令和5年度11月一般会計補正予算について

### ●教育企画課長

資料に基づき説明

### ●教育長

ご質問等ございますでしょうか。今回はともかくとして、時機を見て相談しますが、子どもたちの端末の修繕代が、かなりの額に上っていて、7,800万円という金額です。保険にもちゃんと入っているんですが、保険の対象じゃないものがそれだけ掛かっているということです。なかなか難しいのですが、行政でどこまで面倒みるのかという話になります。原因者負担というのが、本来だと思うんですけども、学校においては、原因者が誰か分からない場合がありますよね。どこかにぶつかってしまったり、知らぬ間に壊れてしまったり、水が入ってしまったりと。今、多分両方で800万円くらい、もっとですか？

### ●教育企画課長

今の時点で、600万から700万ぐらいで、見込みで小中学校合わせまして、1,200万円から1,300万円くらいです。

### ●教育長

機械を入れたのはいいんですが、機械が故障してしまうという悩ましいことがあって、どこまで行政が面倒を見るかという話になっています。実は、高校生はすでにそうなっていますが、BYODとって、自分の端末を持ってくるやり方があるんですね。その場合には、壊れたら自分で直しますよね。今は行政で用意しているために、行政で直してるんですけど、原因者負担がいいと思いつつも、原因者がなかなか特定できないような案件がいっぱいあります。どうしたらよいかと悩んでいて、今は担当に検討をしてもらっています。その件で、皆さんに協議してもらおうことになるかもしれませんが、どこまでいっても悩ましいところになっています。今回は、補正としてあげますが、1,000万近くの修理代となると、悩ましいところでございます。

[質疑・意見(要旨)]

なし

#### ●教育長

原案どおり、承認します。

### 協第18号 令和6年度 袋井市県費負担教職員人事異動方針(案)について

#### ●学校教育課課長補佐

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

#### ●教育長

教職員は県費負担なので、人事の権限は県の県教育委員会にあります。内申行為、市として、こういう異動案にしてくださいということで内申を上げるので、その前の異動の考え方、調整の考え方として、こういう考え方でやりたいというものです。これが県の異動方針と違っていると困るんですけども、県の異動方針はまだ正式に出ていませんが、大筋は去年と変わらないようなので、問題はないだろうなと思っています。正式には、先に県の異動方針が出て、それとすり合わせをしてから固めたいなというふうに思っています。あと、記載内容が少しきつい表現になっているので、もう少し柔らかいものにする予定です。基本的な考え方はということで、この間の校長会で案という形で、先生方に相談しましたが、特段反対意見もなく、このような形で進めていきたいと思いますが、何かご意見がありましたらお願いします。

#### ●大谷委員

いつも内申のためのものですよ。

#### ●教育長

はい。内申のための考え方ということです。教職員は、基本的に磐周地区、磐田市と森町との中で異動するので、それぞれとの調整が必要になります。磐田や森も同じ考えでやってるかって言うと、多少違う部分もあるかもしれません。状況が違うので、すり合わせをしながら進めていきます。

### ●吉田委員

講師不足について、学校によっては講師全員が新卒となることもありえるってということで、新卒の先生の力量が不安だみたいな話があったんですけど、学生のうちから研修に参加してもらって、ある程度のスキル、なかなか現場に出ていないと難しいですけど、土台を作っていくみたいな取り組みとか、袋井市ではされてるんでしょうか。

### ●学校教育課長補佐

袋井市では現状やってないんですけども、今やっているのは支援員で、大学四年生で将来、先生を希望している方については何名か現場の空気を知るという意味で任用させていただいています。

### ●教育監

なかなかいい方法がなくて悩んでいるところです。教員採用試験の前の勉強会を、講師を集めてやっていますので、そこに大学生も一緒に入って学習をしながら、現場の教員と一緒に話をしながら、または面接練習をしながら、学校現場を知ることやっています。また、採用が決まっている学生が、支援員として働くこともありますし、来年教師を目指すから学生の内から始めるってということもあります。アルバイトみたいな形になってしまうのですが、そういう形でなるべく門戸を開いているところです。実際に教壇に立つことは、一緒にという形ではできないものですから。あと、希望により、静岡市では実施していると聞きますが、大半は、大学の授業が終わったら、ボランティアとして学校に行ってお手伝いをするという形です。

### ●鈴木委員

大学生が、なかなか忙しいという面があって、寺子屋も大学生を事前にとということで、静岡寺子屋が始まったと思うんですが、近隣の学校が忙しくてとても難しい状況です。自分が静岡大学の同窓会にも関係していて、静大は静岡市の学校へは出してます。県外の子も。そのまま入って行く人たちもいるみたいです。なかなかここまでってところが難しいです。

### ●教育長

講師だろうが正規採用だろうが、基本的に入ってきて教壇に立つのは変わらない部分があるんですけども、研修体制が正規の方がしっかりしてるので、講師の人に対して、どうやって研修するとか、支援体制を組むかっていうところはやっぱり重要なと思います。正規職員だと、当然初任者研修とかすごい充実していますが、講師の方は含まれないので、その体制をしっかり考えなきゃいけないかなと思います。あとは、学校内で当然

メンターのような方が、新採の人にはちゃんとつくようになってるんですけども、組織的にやっぱりちゃんと支援体制を組んでいかないといけないと思います。教育監からすると、その前に数を揃えなければならないということがあろうかと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、先ほど申しましたとおり、最終的には県の異動方針とすり合わせをして決めていきたいと思います。それで、もう一つ、就学前の園の人事異動についても、方針的なものを、いつかの定例会で少しお諮りをしたいと思います。

#### ●教育長

原案どおり、承認します。

#### 【報告事項】

報第125号 笠原老人福祉センターほか1施設に係る指定管理者の候補者の選定結果について

#### ●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

報第126号 4中学校における新制服の運用について

#### ●学校教育課課長補佐

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

#### ●大谷委員

先ほどのご説明の中にもあったんですけど、国際交流協会でもそういう要望というか、特に外国からこられたお子さんが、今までだとお下がりというか、卒業された方のものを流用して使ってたんですけども、一斉に制服が変わるとなると、どうしたらいいか。確かに移行期間で、別のものを着てくださっていいですよということではあるんですけど、一つの差別を解消するために、多分取り組みとしてなされたというのは非常に理解できるんですけど、この取り組みが国籍であったり、あるいは貧富の差だっったり格差を、如実に表して、それが新たな差別とか、あるいは生きづらさに繋がらないようにというのは、我々として一定の配慮が必要ではないかと思います。購入できない方に何か補助があったりすることではないですよ。その辺りも含めて、今後、かなり慎重に推移を見守るべきではないかと思いますので。我々も充分注視して、そうした差別の解消によって、新たな差別が行われるのは、我々も気をつけなきゃいけないと思います。

●鈴木委員

この運用上の留意事項ですが、袋井中、周南中もスカートやスラックスの選択は、自由ということだと思いますよ。書いてないということだけですよ。

●学校教育課課長補佐

はい。

●溝口委員

留意事項の中で、浅羽中学校が、体育の授業以外は制服を着なさいとありますが、各校でそれぞれ考え方が違うと思うんですけど、学校生活の中でどのぐらいの割合で着ているものなんですか。

●学校教育課課長補佐

それこそ本当に学校によって違うんですが、朝から制服でいて、体育とか技能教科の時に着替えたなら、もうそのまま放課後までジャージでいいですよっていうところもあれば、朝に着替えましょうというところもあるかなと思います。

●溝口委員

通学と帰りは、決まりはあるのですか。

●学校教育課課長補佐

帰りは基本的には制服に着替えるってところが多いのですが、ただ今年なんか特にそうなんですが、最近は熱中症のことも懸念され、帰りもそのままの恰好でいいですよとか、各学校だいぶ流動的になっているのかなと思います。

●吉田委員

運動部の子はそのまま帰っている子が多いので、何だったら、制服を着ない時間の方が多い気がします。

●溝口委員

通学なんか着てるかなという気はしています。それも学校によって差があるんですね。

●教育監

着替える場所があるかないかということも関係します。本当にそのところが大きな要因になります。着替えの時間帯を生み出せるかどうかってところですよ。大きな学校になればなるほど大変になってきます。

●溝口委員

着替える場所って、確かに考えてみるとないですね。教室ですよ。

●吉田委員

女子は更衣室ですよ。

●教育監

ある学校もあるし、取れない学校も実際にあります。本当にそこは学校によって、カーテンを引いたり、場所を変えたりしてやるのですが、それによってすごい時間がかかるので。日課上難しい問題となっています。

●溝口委員

今の時代だと着替える場所を、きっちり用意してあげないと、これからいけないかもしれないですね。

●教育監

それは本当に学校サイドとしても考えています。

●溝口委員

わかりました。そういう問題もあるんですね。

●教育長

来年の4月から制服が移行しますが、大谷委員がおっしゃられたように、それが新たな差別を生み出しちゃいけないので、子供たちにそこをよく勉強させるとうい、知るための良い機会として、学校で運用してくれるといいなというふうに思っています。それから、先ほど学校教育課長補佐から言いましたけども、市長の記者会見の時に、記者発表します。その時に中学生の子に来ていただいて、中学生が自ら説明をしてもらうようにしているので、基本的には子供たちが主体になって、選定した経過もあるので、できれば子供たちに説明をしてもらうように考えています。11月22日ですが、できれば次の日の新聞に載るといいかなと思っています。

報第127号 寄附品の受納について

●教育企画課長、子ども未来課長、袋井図書館長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

7 意見交換

幼保小接続カリキュラムの推進について

8 その他



国補正予算資料（1人1台端末の更新）

（1）次回定例会等の予定について

12月教育委員会定例会

12月26日（火）午後1時30分～ 教育会館3階 ICT研修室

（2）その他

9 閉 会

（午後3時閉会）